



主催 千種区役所 千種区安心・安全で快適なまちづくり協議会

【俳句部門】

| | | | | |
|---|--------------|------------------|---------------|--------|
| 最優秀賞 | かぶそく 過不足の | ふたり い なき二人居や | ぼん つき 盆の月 | 小野 薫 |
| ～審査員講評～ 言葉にならないほど羨ましさを感じました。 老齡のご夫婦が大した病気もせず、大きな心配事もなく、これ以上の幸せも求めず、のんびり日々を過ごして、これまでの人生を懐かしんでいる暮らしが思い浮かびました。読む者がほっとした温かみを感じる良い句です。季語も妥当。 | | | | |
| 優秀賞 | ろうびょう 老猫の | ねいき ほのかな寝息 | はる よい 春の宵 | 山田 由美子 |
| 優秀賞 | なつふか 夏深し | めざ いぬ 目覚めた犬が | せの 背伸びする | 田中 清彦 |
| 優秀賞 | たきだ 炊出しの | とんじるすす 豚汁啜る | ふゆ のと 冬の能登 | 坂本 雅則 |
| 佳作 | ふるほん 古本を | ひら 開けばふわり | はるにほ 春匂ふ | 千葉 乙羽 |
| 佳作 | ねこ ねこ涼む | くるま した 車の下から | の あし 伸びる足 | ぷっちょ |
| 佳作 | まごひまご 孫曾孫 | やしやご な 玄孫の名まえ | なまみこん 生身魂 | 稲熊 明美 |
| 佳作 | あおくさ 青臭き | これぞトマトよ | かぶりつく | 岩田 勇 |
| 佳作 | せみ こえ 蝉の声 | き 聞いてベンチを | ひと じ 独り占め | 仮根 |

【川柳部門】

| | | | | |
|--|-------------------------------------|--|------------------------------------|--------|
| 最優秀賞 | ^ひ 陽のあたる | ^{まど} 窓 ^ベ 辺の ^{せき} 席と | ^{ぶんこほん} 文庫本 | ざえもん |
| <p>～審査員講評～</p> <p>秋の日差しを浴びながら文庫本をひもとく女性の姿が見えます。健康で生活も安定し、趣味は読書と言える幸せ。向学心・好奇心に満ち視線はしっかり明日を向いています。</p> | | | | |
| 優秀賞 | ^{せんまん} 千万の | ^{えがお} 笑顔 ^ま 待ってる | ^{あお} 青 ^{そら} い空 | 松浦 美津江 |
| 優秀賞 | ^{しんまい} 新米が | ^{くち} 口 ^い っぱいで | ^{へいわ} ああ平和 | 木股 昭 |
| 優秀賞 | ^{ほしなが} 星眺め | ^お 推 ^{きよくき} しの曲聞き | ^{いや} 癒 ^い される | りの |
| 佳作 | ^{こうよう} 紅葉を | ^{ひとり} 一人 ^じ 占めして | ^{ろてん} 露天 ^{ぶろ} 風呂 | 四方田 米子 |
| 佳作 | たっぴりと | ^{かいご} 介護 ^{かえ} で返す | ^う 受 ^{おん} けた恩 | 木村 行吉 |
| 佳作 | ^{へいわ} 平和 ^{ねが} を願う | ^{すいへいせん} 水平線 ^が | ^{うつく} 美しい | 鷺尾 丈夫 |
| 佳作 | ハグされて | ^{こころ} 心 ^{まど} の窓 ^を | ^と 解 ^{はな} き放す | 位田 仁美 |
| 佳作 | ^{いちにち} 一日の | ^{つか} 疲れ ^い を癒やす | ^{はは} 母 ^{あじ} の味 | 本多 花帆 |

こ ぶもん
【子ども部門】

最優秀賞 こうよう やま そ ぼ いえ
紅葉が 山いちめんの 祖母の家 西村 怜典

～審査員講評～

と かい はな しぜん ゆた ふるさと
都会を離れ、自然豊かな故郷ですね。

おも しんこきゅう いっしょう ところ かて
思いつき深呼吸をしたいような、一生心の糧になる

いや しあわ かん ゆうだい ふうけい かん
癒しと幸せを感じる雄大な風景を感じます。

こんな かんきょう ふるさと も りょうしん やさ
環境、故郷をお持ちのご両親は、いつも優しく、

とき きび あなた きみ みまも くだ
時には厳しく貴女（君）を見守って下さるのでしょうかね。

すてき く
素敵な句です。

優秀賞 ざあざあと なみのおときき ねむくなる 阿部 希子

優秀賞 かまきりが おにわにたまご うんだあき 徳留 隼也

優秀賞 ふう おと き
風りんの 音を聞いている ゆらゆらと 清水 月捺

優秀賞 もり おと みみ うた
森の音 耳をすませば 歌ってる 山田 留琉乃

優秀賞 ツバメの す だんごのような さんきょうだい
巣 三兄弟 じゃがバター

優秀賞 はる かぜ こころ おく
春の風 心の奥も なでてゆく れん

| | | |
|-----|--|--------|
| 佳 作 | おかあさん いっしょにねると あったかい | いちじく |
| 佳 作 | ろてんぶろ おはなしあいての おつきさま | 菊池 彩央 |
| 佳 作 | ^{いもうと} 妹 ^が とても ^{かわい} 可愛い ^て 手をつなご | 牧山 琴美 |
| 佳 作 | なつがきた げんきになくよ せみのこえ | 嵐 友彩 |
| 佳 作 | ^{かあ} お母さん だきしめられる えがおでね | 石黒 市佳 |
| 佳 作 | あったかい ゆぶねにつかり ねむくなる | 石畑 結菜 |
| 佳 作 | ^{むし} 虫の ^{こえ} 声 ^{よる} 夜のステキな えんそうだ | 柴田 真佑 |
| 佳 作 | がんばれる まほうのことは だいじょうぶ | こののん |
| 佳 作 | ほほよせて ぬくもり ^{もと} 求め ^{うま} 馬のくび | ナンケーキ |
| 佳 作 | ^{しず} 沈み行く ^ゆ 重い ^{おち} まぶたで ^{くも} 雲の ^{うみ} 海 | 松村 翠凉 |
| 佳 作 | おはようと ^{こえ} 声がそろって ^{わら} 笑い ^あ 合う | 東 結菜 |
| 佳 作 | ^{こも} 木漏れ ^び 日は ^{まどろみ} 微睡への ^{かたみちけん} 片道券 | 柴田 明日香 |



第十一回千種区俳句・川柳コンクール

～「癒し（※心と体がほっとすること）」をテーマに、自由に詠んでみよう～

選者

| | | |
|-------|--------|-------------------------------|
| 俳句部門 | 宮井 寛 | 先生（ともしび俳句部門編集、白珠句会事務長、北の風花代表） |
| 川柳部門 | 荒川 八洲雄 | 先生（中日川柳会会長） |
| 子ども部門 | 宮井 寛 | 先生（ともしび俳句部門編集、白珠句会事務長、北の風花代表） |

応募総数

| | |
|-------|-----------|
| 俳句部門 | 1 0 9 句 |
| 川柳部門 | 1 8 6 句 |
| 子ども部門 | 1 3 0 1 句 |

